



Standocryl®

スタンドクリル 2K クリスタルクリヤー K9030

Standocryl 2K Crystal Clear K9030

- パネル補修から全塗装まで対応の高品質2Kクリヤー
- 優れた平滑性(フロー性)と鮮映光沢
- 優れた肉持ち感
- 優れた塗膜物性と耐化学薬品性



使用上のポイント

- Standox® 2KハードナーMS類と 2:1 混合
- Standox® 2KハードナーHS類と 3:1 混合
- Standox® VOCハードナー 類と4:1 混合
- 強制乾燥: 可能
- 自然

Standocryl[®] 2K クリスタルクリヤー K9030

素地:

・ Standox[®] ベースコート

前処理 / 脱脂クリーニング:



Standox[®] 塗装仕様S1素地
準備情報を参照



送気式スプレーマスクを必ず
着用して下さい。SDS/安全
データシート情報も参照して
下さい

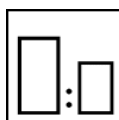
Standox[®] 2K ハードナーMS類とも混
合可能
混合比=2:1
2Kシンナー希釈=15%

Standox[®] VOC ハードナー類とも混合
可能
混合比=4:1
2Kシンナー希釈=35%

16-18秒 /DIN 4mm/20° C
37-45秒 /ISO 4 mm /20° C

作業プロセス:

3:1 HSシステム



Standox[®] 2K ハードナーHS類
混合比=3:1
可使用時間:4~5時間/18~22°C



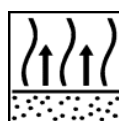
Standox[®] 2K シンナー 希釈率=20%
17-18秒 / DIN 4mm / 20° C
41-45秒 / ISO 4 mm / 20° C



中圧ガン口径:1.3 - 1.4 mm
スプレーガン圧力:2.0 - 2.5kg/cm²
塗装回数:2回 (50-60μm)



HVLPガン口径:1.3 - 1.4 mm
スプレーガン圧力:0.7kg/cm² (ノズル)
塗装回数:2回 (50-60μm)



コート間及び最終フラッシュオフ時間:
5~10分 / 18~22°C



自然乾燥:一晩/18~22°C
もしくは

強制乾燥:20~30分 / 60~65°C
(パネル温度)



短波乾燥機:8~12分
中波乾燥機:12~14分
(Standox[®] 塗装システムS10参照)

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与しますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行っていただきますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

Standocryl[®] 2K クリスタルクリヤー K9030

引火点:

・ 26°C / 78.8 °F

比重:

・ 0.99 g/cm³

固形分

(希釈剤を加えない場合):

- ・ 47.9 Gew.-%
- ・ 41.3 Vol.-%

VOC :

513 g/Ltr.

塗布面積(理論値):

・ 7.8 m²/L(乾燥塗膜 50 μm)

器具の洗浄:

使用後、直ちに洗浄用シンナーで洗浄して下さい

注意事項:

・ Standocryl[®] 2K クリスタルクリヤーK9030は、下記製品を混合使用出来ます。

Standocryl[®] 2K スペシャルマット5630

Standex[®] 2K ソフトナー(ニュー)5660

・ Standocryl[®] 2K クリスタルクリヤーK9030 は24時間以内であれば、中研ぎせずにオーバーコートが可能です

・ スプレーブース内で熱風加熱乾燥する場合、ブース内温度が上昇するまでの加熱時間を考慮の事

・ 再補修を行う場合は塗膜を完全硬化させてから実施して下さい

2K塗料は、水分と反応する性質があるため、使用する全ての器具・容器などの水気をあらかじめ完全に除去して下さい。イソシアネートを含む混合済み塗料は、呼吸器官などの粘膜を刺激し過敏反応を誘発する可能性があります。イソシアネートを含む塗料を取り扱う際には、溶剤を含む塗料に関する諸取り扱い規定に注意し、特に噴霧・蒸気を吸い込まないように十分気を付けて下さい。アレルギー体質、ぜんそくのある人、呼吸器官の疾患にかかりやすい傾向のある人は、イソシアネートを含む塗料の取り扱いを避けて下さい。